

課題9. 補遺

A. 吸引ろ過

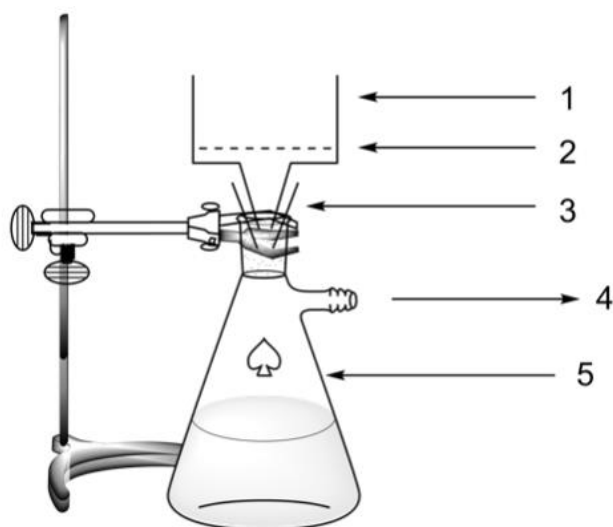


図1: 1 = ブフナーろうと、2 = ろ紙、3 = ゴムアダプター、4 = 真空装置、5 = 吸引ビン

実験手順：

1. ブフナーろうと、ろ紙、吸引ビンを使って実験装置を組み立て、クランプでスタンドに固定する（図1を参照）。
2. 吸引ビンと真空装置を管でつなぐ。
3. ろ紙を適切な溶媒（通常はろ過したい懸濁液に含まれている溶媒を用いる）で湿らせ、ブフナーろうとの穴を全てろ紙が覆っているか確認する。
4. 真空引きを開始し、懸濁液をブフナーろうとに注いでろ過を行う。
5. ろ過が終了したら真空装置を停止する。

課題9. 補遺

B. 薄層クロマトグラフィー (TLC)

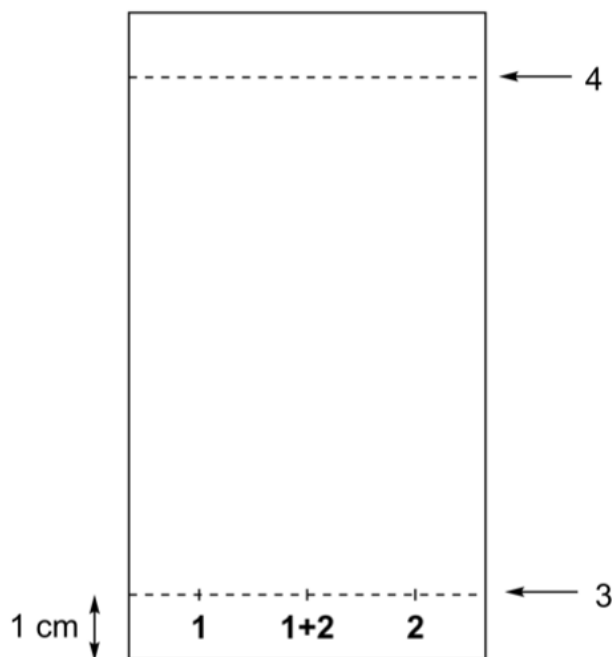


図2: 1 = 出発物質、2 = 生成物、1+2 = 出発物と生成物の両方、3 = スタートライン、4 = 溶媒フロント

1. 展開槽を用意し、約0.5 cmの高さまで展開溶媒を入れて蓋をする。
2. TLCプレートの下から約1 cmのところに、鉛筆で優しくスタートラインを書く。
3. スタートライン上の左に出発物、右に反応生成物をスポットし、出発物と生成物の両方を中央の同じ場所に重ねてスポットする (図2を参照)。
4. TLCの展開を行う。ピンセットを使ってTLCプレートを展開槽に入れて蓋をし、展開溶媒がプレート上辺の約1 cm手前に到達するまで展開する。ピンセットでTLCプレートを取り出し、溶媒が到達した位置に鉛筆で優しく線を書き込んで、プレートを風乾する。